

第45回全日本都市対抗テニス大会

さいたま市は5位入賞しました。！



第45回全日本都市対抗テニス大会が、7月15日－18日栃木県総合公園テニスコートで行われました。

昨年の三重大会はコロナ禍中止となり、本大会は2年振りに無観客として開催されました。

さいたま市は本年1月の県大会優勝メンバーを中心に、梅雨明け本番の炎天下全員が持てる力を発揮し、前回鹿児島大会の3位に続く5位入賞を果たしました。

選手・役員の皆様お疲れ様でした。また、南部予選会・県大会や強化練習会に参加頂いた選手の皆様、ご支援ご声援頂いた関係者の皆様、ご尽力頂いた役員の皆様にも心より感謝申し上げます。(直前の怪我で離脱された今岡さん、急遽ピンチヒッターを引き受けて頂いた鈴木さん、監督の関根さん、MGの富永さん、関会長にも感謝申し上げます。

本大会は来年のいちご一会とちぎ国体のリハーサル大会で、宇都宮市内の県総合運動公園オムニコート16面を使用して開催されました。

【試合内容】

1Rは、東北地区第3代表の盛岡市と対戦し、5-0で勝利しました。

(宇都宮戦メインコート)

全国大会初出場の一般男子山本翔太さん、45男子石田大地さんは序盤緊張したものの、ペアの三好さん、弟の洋平さんのリードもあり初勝利を上げました。一般女子の重田さんも都市対抗初出場です。昨年の全国高校生チャンピオンも団体戦特有の雰囲気には硬さが見られましたが、中盤から立直し見事勝利、シングルスを待たずに2日目進出を決めました。

翌日の2Rは、岡山市との中国地区対決を制した広島市との対戦です。

2面進行で、一般男女ダブルスからスタートです。満を持しての出場の清水盾伎君は最初から全開です。女子の金井・重田ペアも昨日とは見違えるコンビネーションを発揮し有利に進めます。幸先良く2勝し続く男女45ダブルスも順調にポイントを重ね、早々と準々決勝進出を決めました。55男子ダブルスは酷暑の中の戦いで辛そうでした。

続く準々決勝は第1シードの地元宇都宮市との対戦です。メインコートが空かずだいぶ待たされ、16時近くの開始となりました。3面進行です。

宇都宮市の一般男女は、来年の国体を見据えたプロ選手で固め、ベテラン45にも世界ランカーを揃えた強敵で流石に苦戦します。一般男子の三好・清水ペアはさいたま市最強ですがゲームが



取れません。相手のパワーとスピードに終始圧倒されました。女子も全日本3冠達成者相手に喰らいつきましたが、最後に突き放されました。45男子も中盤までリードしましたが、終盤逆転され0-3と後がなくなりました。続いて45女子、55男子、女子シングルスが入ります。45女子の小野田・鈴木ペアは着実にゲームを取って勝利し相手に傾いた流れを変えました。55男子の塩澤・石川ペアも自分達で終われないと最後の力を振絞り、粘る相手をタイブレーク7-5で制しました。金井さんの相手はジュニアからのライバルでJOP38位の強敵ですが、相手の強打を凌ぎ主導権を渡さずゲームが進みます。そして、6-6からブレーク、最後もキープして8-6の勝利、大金星です！ 3-3となった最後の男子シングルスは大学3年生の清水盾伎君。ダブルスのお返しとばかりJOP26位に立ち向かい、ショットも冴えて4-3とリードし相手を慌てさせます。しかしここでニューボールになり、ギアを上げた相手に一気に逆転されました。終了は日没近くです。最終結果は3-4ですが、0-3から3-3まで追い上げ第1シードを追い込んだ価値ある5位入賞。最終日まで残れませんでした。チームワークは最高でした。メンバーの皆さんに感謝です！

記：さいたまテニス協会強化部長
清水宏明

..... (フォトギャラリー)



初日盛岡市戦後



2日目広島市戦前エール



2日目広島戦後



日没前の宇都宮戦後

結果詳細はこちらで

<https://www.jta-tennis.or.jp/tournaments/tabid/129/Default.aspx>

..... 選手紹介

一般男子

一般女子



三好健太

清水盾伎

山本翔太

金井綾香

重田夢亜

ベテラン男子1部



関根浩王

石田大地

石田洋平

ベテラン女子

ベテラン男子2部



小野田愛子

鈴木晶子

石川英明

塩澤正樹